



## 700 コース踏破に乾杯！ 健康に感謝！

「越生梅林」コース 埼玉県 No.33  
JOA 公認 No.727 6.8km 9 ポスト

### 梅の季節

昭和 63 年の開設以来 20 年余り親しまれた「越生休暇センターAB」コースが平成 21 年 7 月末をもって廃止となり、後継コースとして同 8 月 11 日に開設された「越生梅林」コースを紹介します。

越生には過去何度もオリエンテーリングに訪れながら、それは梅のシーズンをいずれも外した時季。今度こそ満開の梅の中でコースを楽しみたいと思い、満を持してこの日の踏破となりました。この冬は例年になく寒さとなり、梅の開花も大幅に遅れています。2 月 11 日から 3 月 20 日までの開催予定だった梅まつりも 3 月 31 日まで延期となり、この日もまだ満開の梅が咲き乱れていました。

### 地図はネットプリント

朝はのんびり 10 時に大船でレンタカーを借り、高速を使わずに越生まで向

かいます。越生駅近くのうどん屋で遅い昼食をとり、スタート地点のニューサンピア埼玉おごせ(2010 年 4 月に「ウェルサンピア埼玉おごせ」から改称)に到着したのは 15 時前。予定よりは大幅な遅れでしたが、既にマップはネットプリントで入手していたことから、15 時 8 分にはスタートします。

なお、公共交通機関利用の場合は、JR 八高線または東武越生線越生駅より川越交通バスが利用でき、ニューサンピア埼玉おごせ経由黒山行きに乗ると 10 分ほどで到着します。休日なら 1 時間に 1~2 本程度の運行です。



ニューサンピアおごせ全景

スタート地点の案内板は休暇センターコースの表記がそのままながら、本来マップが掲示されているところにコ

ース変更とマップがネットプリントになった旨の告知がなされています。

### 快適な遊歩道

まずは駐車場を抜け、階段から続く遊歩道に入ります。お手本のような整備状態の散策路を南へ向かうとほどなく第 1 ポストに到着です。更新されたポストは白色と朱色の鮮やかさがまぶしいほど。常緑樹の緑とのコントラストが際立っています。

第 2 ポストへもウキウキするような歩きやすい歩道が続いています。下り気味に尾根筋を進むと分岐がポスト位置です。

第 3 ポストはコース最東端の弘法山山頂。南にカーブしながら続く歩き始めの区間は絵に描いたような美しき山道です。越生中の北辺に沿って進むといったん道路に出、弘法山へと再び山道に入ります。徐々に勾配がきつくなり、山頂に到着した頃にはこの時季でもうっすらと額に汗が滲んでいました。山頂一帯は諏訪神社の境内になっていて、ポストは本殿の脇に控えめに設置されています。参道とは逆から到達した形です。





諏訪神社と第3ポスト

石段を下るところから第4ポストへのルートが始まります。急な坂道を、バランスを取りながら下ると山裾にある弘法山観世音に到着。ここは武蔵越生七福神の弁財天が祀られています。この時は無人でひっそりと静まり返っていました。穏やかに続く小道を西に向かい道路に出ると、梅林までは広い道路を歩くことになります。ともすると中弛みになりそうな区間ですが、そこかしこに咲き乱れる梅の花が沿道を飾り、梅林へ向かう高揚感を一層掻き立ててくれます。ポスト地点の手前で「田代三喜(たしろさんき)の生地」という史蹟に遭遇。室町から戦国期に活躍した医師である三喜は「医聖」とも呼ばれ、日本医学の中興の祖と位置づけられる存在の人物です。このように、土地々々の縁の偉人の足跡に触れられる機会が得られるのも、パーマメントコースめぐりの楽しみの1つ。史蹟の先から左手に入り、頼りない橋を渡ると竹林で第4ポストを発見します。

## 名勝・越生梅林

この先が越生梅林の臨時駐車場となっており、観光客が散見されるようになります。週末なら大変な賑わいとなるこの時季であっても、この時のような平日の16時過ぎとなると、人出も少なく本来の花見を満喫できる環境です。

梅まつり開催中は自然環境保全協力金という入園料200円を支払って梅林へ入ります。なお、第5ポストは有料区域の外にありますので、コースを回る上では入園料の支払い義務は発生しません。閉園は17時とのことで、まだ1時間近くは観賞できます。まつり開催期間が延長されたとはいえ、残すはあと4日というこのタイミングながら、梅の花は文句なしの満開のため息が出るほどの美しさ。遠くで眺めるより、近くで一輪一輪を観賞するのに向くのが梅の花。顔の位置に咲き誇る花を堪能します。

水戸、熱海とともに関東三大梅林に名を連ねる越生梅林の起源は今から650年も前に遡ります。園内には古木も100本ほど残り、概ね樹齢200年前後だ

そうですが、「魁雪」という名木は樹齢650年。今なお可憐な花を咲かせています。ちなみに、一般的には白い花をつけるのが白梅、ピンク色の花をつけるのが紅梅とされていますが、正しくは樹木の色で紅白の区別をつけるのだそうです。ですから、白い花を咲かせる紅梅というものがあるのだとか。たっぷり堪能してもう1つの入口から外に出ると、すぐ横に第5ポストが待っていてくれました。



夕方の赤い陽射しの中をコース後半の山場に挑みます。坂道をのぼり、林の入口の第6ポストを確認し、林間ルートへ歩を進めていきます。しばらくは緩やかな上り坂で、快適この上ない小道。ポストに近づくにつれてきつくなる勾配はこのコース一番です。ほどよい緊張感を味わいつつ上ると、岩の横で第7ポストが確認できます。

折り返して尾根筋を下るルートは地



図表記でも道が途切れている通り、はっきりしない箇所があります。地形的には難しくないルートですが、藪漕ぎもわずかながらあり、冒険心が沸き立つことでしょう。道路に抜け出すと、太陽が山向こうに今まさに没しようとしているところでした。越生川支流の上殿川に沿って東に向かうと、古びた第8ポストが分岐に置かれています。旧コースからの転用のようで、塗装の剥離が激しい状態でした。

武蔵の杜カントリークラブの入口をかすめ、道路から小道を登ると最終ポストが頭上に見えてきます。このまま尾根筋をたどると遠回りのため、東側に下り宿泊棟沿いに歩いてゴールに向かいます。大学時代に3級指導員の講習会でお世話になったことを思い出しつつ、梅観賞も含めて2時間余りでコースを終えました。

ニューサンピア埼玉おごせには日帰りの湯梅の湯があり、汗を流すのいうってつけです。100点満点の好コース。ぜひ家族や仲間たちを誘い合わせて回ってみてください。

## 700コース踏破

私も知人を誘って出かけましたが、このコースで700コース踏破を達成しました。小学3年生に進級したばかりの昭和53年4月9日、満開の桜が咲き誇るなか初挑戦した野田清水公園コースから数えて丸34年での達成です。

レンタカーを横浜で返却したあと、関内駅前まで繰り出し、関東で一番うまい(と勝手に思っている)焼肉屋で達成の祝杯を挙げました。

(2012年3月27日 踏破)(大高竜亮)